

世界の民族衣装展

# 世界の絣



今年度 第二回目の世界の民族衣装展は、「絣（かすり）」をテーマに収蔵品の中からアジアを中心に絣織の衣装や装飾布を展示いたします。

日本で言う「絣」は、「イカット」という名前で呼ばれ、マレー語で「括る（くくる）」という意味にあたります。経糸や緯糸を糸で「括る」ことにより糸を染め分け織ることによって文様が形作られます。染め分けの技法としては、「括る」他に「捺染」や「板締め」などがあります。経糸を染め分けて柄を出すものは「経絣」、緯糸の場合は「緯絣」、経緯両方の糸で柄を出すものは「経緯絣」と呼ばれ、染め分けられた糸から様々な文様が表現されます。インドの経緯絣のパトラサリー、インドネシアの男性用腰巻や女性用衣装のサロン、中央アジアのコートや飾り布、グアテマラのスカート、日本の絣織物、また、桐生織塾様のご協力により、所蔵の絣着物も展示いたします。

染織資料展では、代々受け継がれてきた衣装の技法や色彩等、美しく素晴らしい染織資料をご紹介します。是非この機会にご覧ください。

平成28年9月6日（火）～ 10月16日（日）

会場 桐生地域地場産業振興センター  
4階「資料展示ホール」

開催時間 10:00～16:00

休館日 月曜日 入場料 無料

